



さい帯血バンク NOW

第64号

3月15日発行

日本さい帯血バンクネットワーク

発行者：中林正雄（会長）

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字社西館5階

TEL 03-5777-2429 FAX 03-5777-2417 <http://www.j-cord.gr.jp/>

さい帯血バンクは新体制へ

わが国におけるさい帯血バンク事業はこれまでと大きく様相を変え、今年4月から新たな体制で運営されることとなります。今年3月で宮城さい帯血バンクは事業を終了することになりました。一方、日本赤十字社系のさい帯血バンクは運営形態を大きく変えます。昨年まで11バンクがネットワークを組んできた日本のさい帯血バンク事業は、今後は8バンク体制で運営することとなります。また、4月からは診療報酬が改定されて、さい帯血移植が増点になるなど、さい帯血バンクとさい帯血移植をめぐる状況がこの春から大きく変化することになりました。

宮城さい帯血バンクが事業終了

かねてより財政難で経営に苦しんできた宮城さい帯血バンクは、毎年続く赤字のために平成23年度をもって、さい帯血の採取、調製、保存、提供に関する事業を終了することになりました。これまでに保存されてきた宮城さ

い帯血バンクのさい帯血とその記録類、設備類の管理について、他のさい帯血バンクとの間で調整が行われ、保存さい帯血については北海道さい帯血バンクに移管され、今後の出庫業務が引き継がれることになりました。

また、宮城さい帯血バンクはNPO法人ですが、組織としては今後も存続させ、さい帯血バンクの普及啓発等の活動を続けることにしています。

日赤系さい帯血バンクは新体制に

これまで日本赤十字社の各地血液センターの自発的な事業として運営されてきた日赤系さい帯血バンクは、平成24年度からは正式に血液事業の関連事業（会計も含む）として位置づけら

れ、日本赤十字社による統一した方針のもとにさい帯血バンク事業を実施することになりました。日赤の血液事業は平成24年度から広域事業運営体制が導入されることになり、これにとも

ない全国7カ所にブロック血液センターが新設されます。このうち4カ所のブロック血液センターにさい帯血バンクを置き、さい帯血バンク事業を実施することになります。

今後は、これまでの血液事業で蓄積した技術を活用して、調製・保存等における技術手順等の統一化をはかって、さい帯血の品質の向上を目指すこととなります。このため、各さい帯血バンクに品質部門と調製保存部門を置くことになりました。

なお、これまでに11バンク体制で運営されてきた日本さい帯血バンクネットワークのさい帯血バンク事業は、別表のように8バンク体制に移行することとなります。

従来11バンク体制	今年4月からの8バンク体制
①北海道臍帯血バンク	①日本赤十字社北海道さい帯血バンク
②宮城さい帯血バンク	※平成23年度事業終了、さい帯血は北海道へ移管
③東京臍帯血バンク	②東京臍帯血バンク
④日赤東京さい帯血バンク	③日本赤十字社関東甲信越さい帯血バンク
⑤神奈川臍帯血バンク	※平成22年度事業終了、さい帯血は日赤東京へ移管済
⑥東海大学さい帯血バンク	④東海大学さい帯血バンク
⑦東海臍帯血バンク	⑤東海臍帯血バンク
⑧京阪さい帯血バンク	⑥日本赤十字社近畿さい帯血バンク
⑨兵庫さい帯血バンク	⑦兵庫さい帯血バンク
⑩中国四国臍帯血バンク	※平成23年度事業終了、さい帯血は九州へ移管
⑪福岡さい帯血バンク	⑧日本赤十字社九州さい帯血バンク

診療報酬改定でさい帯血移植は骨髄と同額に増点

2年に一度見直されている診療報酬は今年4月に改定されますが、さい帯血移植術は大幅に増額されることにな

りました。日本さい帯血バンクネットワークではかねてより診療報酬点数の増点を要望していましたが、これが認

められたことになりました。

これまでさい帯血移植は4万4300点（1点＝10円）で、骨髄移植の



6万5600点と大きな差がありましたが、この4月からは双方とも6万6450点に増額され、同額になることになりました。診療報酬は移植医療機

関の収入になりますが、さい帯血移植に関してはその一部が移植医療機関からさい帯血を提供したさい帯血バンクに費用が支払われます。今回の改定

で増額された額のすべてがさい帯血バンクの収入になる予定で、これにより移植1件につき39万5500円がさい帯血バンクの収入になります。さい帯血バンクではこれまで恒常的に脆弱な財政的課題をかかえてきましたが、そのすべてを解決するには至らないものの、経営面では大きく改善されることが見込まれます。

●さい帯血バンクと骨髄バンクの診療報酬改定点数

移植術	3月まで	4月から
さい帯血移植 (うちさい帯血バンクの収入)	44,300点 (17,400点)	66,450点 (39,550点)
骨髄移植 (うち骨髄バンクの収入)	65,600点 (45,000点)	66,450点 (45,850点)

世界で断然トップ、日本のさい帯血移植

2月24日と25日に大阪で第34回日本造血細胞移植学会が開催されました。学会の様々な発表の中で年々さい帯血移植関連のテーマの増加が顕著になっていますが、今回は会長シンポジウムでさい帯血移植がテーマとな

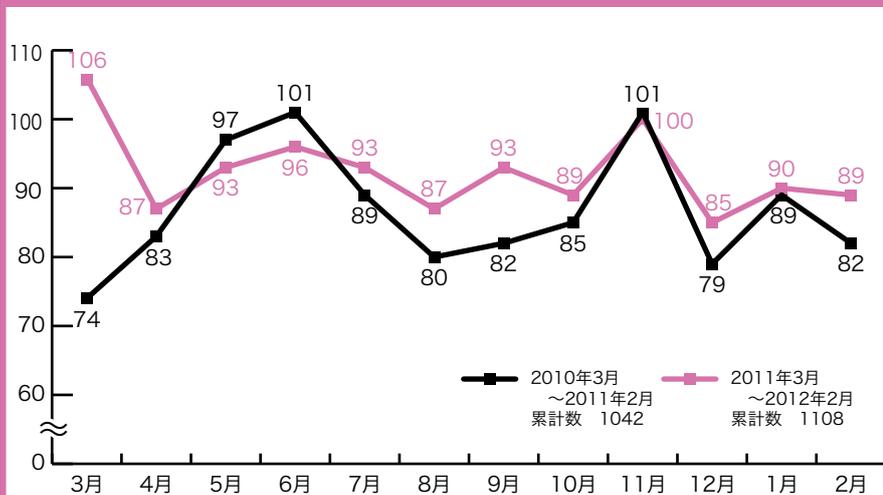
り、アメリカと韓国の研究者の講演も含めて英語で行われました。この中で、谷口修一氏(虎の門病院)から"CBSCT:Update in Japan"と題して日本におけるさい帯血移植の最新状況報告がありました。

これまで、移植症例数で、日本はアメリカよりも多い世界一のさい帯血移植が行われているのではないかと指摘がされていましたが、谷口氏はWBMT(Worldwide Network for Blood & Marrow Transplantation)とEUROCORDの資料を提示して移植数を比較検討しました。それによると、さい帯血移植数は2011年までの累計で北アメリカでは7000件あまり、ヨーロッパ全体で5000件台半ばなのに対して、アジアでは9000件にのぼり、またアジアでのほとんどが日本でされていることを指摘しました。さらに、移植症例数の年次推移のグラフも示し、すでに2006年の段階から、日本が欧米に大きな差をつけて断然のトップであることを明らかにしました。

これにより日本は世界でも最大のさい帯血移植先進国であることを指摘した発表となりました。

非血縁間さい帯血移植状況(2012年3月1日現在の速報値)

移植数(累計) **8253** 公開数 **30205**



※複数さい帯血移植数を換算しています。



すこやかに、幸せに。
明日への夢、描きたい。

人から人へ、心から心へ、医療という名のヒューマンなコミュニケーションを広げたい。真の健康を守り、幸福な社会を築くために、優れた医療器具を広くおとどけているニプロ。

私たちニプロはさい帯血を採取保存する技術でさい帯血バンクを応援致します。





さい帯血バンク our staffs! うちのスタッフ

④ 兵庫さい帯血バンク

高校球児の聖地・甲子園球場から東に2キロ弱、武庫川の清流に臨む兵庫医科大学内に兵庫さい帯血バンクがあります。1999年、前身の近畿臍帯血バンク（三医科大学の共同事業）から独立して活動開始しました。また、2000年に特定非営利活動法人（NPO）として法人化、さらには2007年認定NPO法人として承認されました。その間、さい帯血バンク事業は躍進著しく、調製・保存と移植数は着実に数字を伸ばしてきました。昨年11月には兵庫バンクが提供したさい帯血の移植数は累計で1100例を突破しました。兵庫さい帯血バンクは、兵庫医大に施設の提供や人材派遣等の支援を受けています。また、16の採取医療機関、地元行政、各種団体、搬送ボランティアグループ等からも強いご支援をもらって運営されています。

さて、ここからは“仮想座談会”でスタッフの自己紹介をしてもらいましょう。まず、臨床検査技師の皆さんからお願い致します。写真①の向かって右の方から順番にお一人ずつお願いします。

「兵庫県小野市出身の川岸万佑子です。血液型はO型、星座はやぎ座です。さい帯血バンクに携わって4年、ここでは病院業務にはない色々なことを経験でき、いい仕事だと感じています。プライベートな面でも色々経験しなくては損、という気持ちで、陶芸、乗馬、スキューバダイビング、茶道、生け花などをして充実した日々を送っています」

「愛媛県西予市出身の村田理恵です。



写真①臨床検査技師さん

兵庫医大病院の輸血部で勤続14年、兼務のさい帯血バンクは6年になります。3児のパワフルママでさい帯血提供経験者です。こうした経験を生かして、さい帯血バンクでは主として採取施設を含めた関係者の教育・指導に当たっています。趣味はスノーボード、スキー、ピアノ、フルーツ等と盛り沢山。また、最近、産後のダイエットで空手を始めました」

写真中央の甲斐先生を飛ばして次の方をお願いします。

「兵庫県加古川市出身の谷原知香です。血液型はAB型、星座はやぎ座です。バンク業務に関わって早や7年です。100日追跡調査が届いて患者さんの移植が成功したことを知った時、この仕事っていいなあとやりがいを感じます。プライベートでは心と体のバランスを整えるヨガを趣味としています」

「大阪市出身の小林珠実です。血液型はA型、星座はおとめ座です。バンクには2002年から勤務し、もうすぐ10年を迎えます。以前に勤務していた病理部門とは違い、移植を受けた患者さん、提供して頂いたお母さんや赤ちゃん、またさい帯血を搬送して下さるボランティアたち等、様々な人々と出会うことができるので、とても仕事のやりがいを感じています。今後も一人でも多くの方のお役に立てるよう頑張ります」

最後に恐縮ですが、日々ご指導頂いている浪速っ子の甲斐先生お願いします。

「はあ、私もなんかしゃべるんですか、かなわんな。じゃあ、一言だけ。当バンクの検査技師の頑張りには驚くばかりです。大感謝です」

技師の皆さん、何か付け足すことはありますか。

「昨年9月から1名欠員のままなのに、近々貴重な1名がめでたく産休に入ります。人手が足りません。スタッフ急募中です」

そうですね。早急にスタッフが見つ



写真②事務局の皆さん

かることを願っています。では次に事務局の自己紹介に移りたいと思います。事務局の職員は週1～3日の非常勤です。写真②の右の方からお願いします。

「三重県志摩市出身の高取案子です。2005年3月から総務・広報を担当しています。5周年、10周年記念式典と節目の時を迎えさせていただき、この間にさい帯血の重要性・さい帯血移植の増加、ボランティアの方の支援等を知りました」

「兵庫県西宮市出身の糸川宏一です。2004年7月以来、経理一筋の事務局最古参です。ゴルフ・テニス・旅行と定年後の人生を楽しみながら、バンクの仕事にやりがいを感じて励んでいます」

「兵庫県柏原市出身の堅田博行です。事務局長になって1年半の新人です。兵庫県職員を早期退職後、縁があってさい帯血バンクの事務局にきております。糖尿病、中性脂肪と闘っていますが、アルコールの誘惑には常に負けています」

「兵庫県豊岡市出身の中西喜由です。担当は総務。勤務3年9ヶ月です。この間における最も大きな仕事は、一昨年のNPO法人設立10周年の記念行事開催でした」

以上で終了ですが、おっともう一人紹介するのを忘れていました。昨年9月デビューしました兵庫さい帯血バンクのシンボルキャラクターの『ころちゃん』です。スタッフ同様、よろしくお願い致します。では以上で終了させていただきます。皆さんお疲れさまでした。





移植 病院 訪問

⑱ 東北大学病院

成人でも小児でも さい帯血移植を意欲的に

東北地方を代表する東北大学病院では、早期から造血幹細胞移植に取り組み、さい帯血移植でもその黎明期から実施してきました。造血細胞移植は成人患者には血液免疫科で、小児患者には小児科で行ってききましたが、双方をあわせるとさい帯血移植の分野で日本でも屈指の症例数を誇っている病院です。

両科で日本の5指に

小児科では1982年に最初の造血幹細胞移植が実施され、1999年からはさい帯血移植が始まり、これまでに35症例のさい帯血移植が行われています。一方、血液免疫科では1989年に第1例目の血縁者間骨髄移植が行われ、2000年からはさい帯血移植にも取り組み累積で97件のさい帯血移植が行われてきています。特に近年のさい帯血移植数が伸びて、ここ3年間で両科を合わせた移植数では全国の病院で第5位になるほど意欲的にさい帯血移植を行っています。

小児科での適応症例増加

小児科では西5階病棟に4床の無菌室を用意して移植にあたっています。近年では年間10~15例の造血細胞移植を行い、全移植症例のうち約半数がさい帯血移植で、良性、悪性疾患ともに適応症例が増加しているそうです。いま取り組んでいるテーマとして、笹原洋二医師は「これまでの小児血液疾患に対するさい帯血移植とともに原発性免疫不全症、先天性代謝異常症、慢性活動性EBV感染症、再発難治性小児固形腫瘍症例に対する、骨髄非破壊的前処置(ミニ移植)によるさい帯血移植に力を入れています」とし、投与する薬剤の種類や量、期

間、手順などを示した治療法の確立を目指しているそうです。実現できればより軽い前処置で移植患児のQOL向上が可能になります。

さい帯血移植は標準的治療に

血液免疫科では東14階病棟に無菌室数17床を含む45床で造血細胞移植に臨んでいますが、これまでに259件の同種造血幹細胞移植数を行ってきました。そのうち、血縁者間の移植が84件、骨髄バンクを介した非血縁者間の骨髄移植が78件、さい帯血移植が97件となっています。数年前までは血縁者の移植、骨髄バンクとさい帯血移植がそれぞれほぼ同数でしたが、近年では成人でも移植の約半数がさい帯血で、年間で15例前後を行っています。成績も骨髄移植と同等だということです。移植患者の対象年齢はいまのところ65歳以下としていますが、ハイリスクであっても積極的に取り組んでいます。大西康医師は「かつては他に治療法がなかった場合に行っていたさい帯血移植ですが、今では標準的な治療になりつつあります。特にさい帯血移植は移植後のGVHDの重症化が少ない点がメリットです」と語っています。

大震災の影響

東日本大震災から1年になりますが、あるとき血液免疫科にはさい帯血移植直後でまだ生着する前の患者さん3名が無菌室にいました。自家発電で停電はしのぎ、薬剤部の努力で薬は何とか確保しましたが、無菌室は解放となり詳細な検査はできませんでした。患者さんをは

じめスタッフの食事にも苦勞する状況となりましたが、その患者さんは今では元気にしているとのことでした。震災後も4月28日から移植を再開しています。

血液免疫科では歯科やリハビリ、心理療法など他科スタッフとの定期的なミーティングを持って移植にあたっているそうです。また、東北大学という環境は医学生たちがさい帯血移植に接する機会も多く、移植に対する関心も高まっているようです。また、東北大学病院の患者は地元宮城を中心に近隣東北各県におよび、大きなニーズを背負っている病院といえるでしょう。

■ 善意のお気持ちに感謝します ■

京都府	ホセ・カレーラスファンク	500,000円
愛知県	合同会社チェストファイブ	35,000円
大阪府	福田博行様	20,000円
東京都	堀北恵理様	10,000円
神奈川県	田中栄一・吉子様	10,000円
埼玉県	大寺信行様	6,000円
大阪府	松田恒雄様	5,000円
千葉県	土屋亨様	2,000円
	マツオジュンコ様	100,000円
	セキナナコ様	20,000円
	コバヤシナオキ様	19,000円

〈寄付受け付け専用口座〉

● 郵便局からの振り込み

00180-9-57390

● 他の金融機関からの振り込み

金融機関名： ゆうちょ銀行

金融機関コード： 9900

支店番号： 019 (銀行のATMから当ネッ

トワークへ寄付金を送金す

る場合は支店名は『ゼロイチ

キュー』と入力してください。)

預金種目： 当座

口座番号： 0057390

口座名義： 日本さい帯血バンクネット

ワーク

